

# 土木用遮水シート 土木工事における遮水や貯水、土砂の吸出、洗掘防止に ヒシビニカ®一般軟質シート ヒシプレーン®超軟質シート(高重合タイプ)



写真はカットサンプルです

## 特長

### 柔軟性、弾性、強度が優れている

柔軟性・伸び・弾性が特に優れており、かつ機械的強度が高いので、繰り返しの折り曲げや引張りに強く、突起物に対しても優れた抵抗性があります。

### 耐久性に優れている

耐老化性に優れているので、永年の使用に耐えます。

耐薬品性に優れているので、酸・アルカリなどの汚水や海水に腐食されにくいものです。

### 施工性に優れ、経済的である

熱溶着が容易であることから、現場での接続施工は気象条件の影響をあまり受けずに熱風溶着で簡単確実に施工することができます。又、施工性が良いので、工期を短縮し、工事費の低減が可能です。

### 防水性に優れている

吸水・透水が少なく、防水材料として適しています。

### 耐寒性に優れている

低温になっても柔軟性を保っているので、冬期でもシートが硬くなりにくく、作業性は落ちません。

### 単層シートである

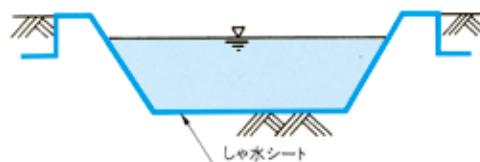
0.4~0.6mm厚さまで単層体で製造しているので、積層品にみられる層剥離の事故はありません。

### ヒシビニカ®・ヒシプレーン®

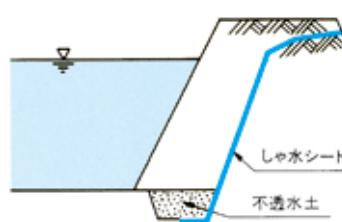
ヒシプレーン®は、高重合レジンを使った超軟質シートです。ヒシビニカ®は、軟質シートです。

## 実施例

### ▶素掘り池に使用する場合



### ▶アースダムの遮水に使用した場合

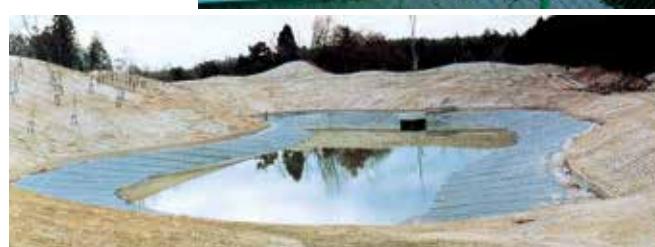


写真番号: PH-103

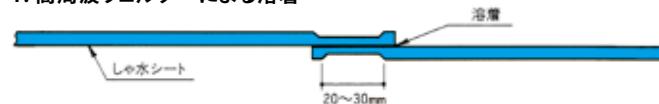
### ▶仮設堰堤の法面崩壊防止及び防水用

## 接合方法

シートの接合方法は、熱溶着による方法と接着剤を用いる方法に分けられます。ヒシビニカ®・ヒシプレーン®は高周波ウェルダーや熱風によって溶着できるので、接合部が一体物に仕上げられるところが大きな特長であり、現場においても効率よく簡便に工事を行うことができます。



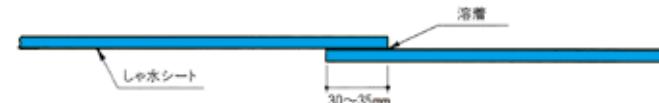
### 1. 高周波ウェルダーによる溶着



この接合方法は加工工場でのみ使用できる接合方法です。

●接着シート厚さ 0.5~3.0mm

### 2. 热風による溶着 (工場・現場)

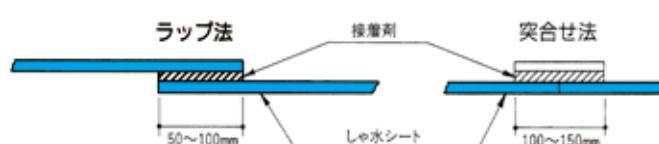


この接合方法は加工工場及び現場における接合方法です。

●接着シート厚さ 1.0~5.0mm

(6~10mm厚さのものは溶接棒による突き合わせ溶着が適しています。)

### 3. 着剤による溶着 (現場)



この接合方法は主として現場における接合方法です。

●接着剤標準塗布量 150~200 g /m<sup>2</sup> (両面塗布)

●使用接着剤 ボンドG-350 (コニシ(株)製)